

令和 5 年度(2023 年度) グループホームネバーランド 事業報告書

1. 施設の概要

(1)介護保険法

- ・認知症対応型共同生活介護
- ・介護予防認知症対応型共同生活介護 利用定員 各ユニット 9 名(合計 18 名)

2. 施設管理など

(1)職員配置

2024 年 3 月 31 日現在 (単位:人)

(各ユニット)	基準数	現員
管理者	1	1
計画作成担当者	1	1
介護職員(日中)	日中利用者 3 人に 対して 1 名配置	3 人以上
介護職員(夜間)	1	1

(単位:人)

(2)運営推進会議

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回
参加者	4 月 19 日	6 月 14 日	8 月 23 日	10 月 18 日	12 月 13 日	2 月度
利用者	0	0	0	0	0	感染症対策の為 書面報告
利用者家族	0	0	0	0	0	
介護保険課職員	0	0	0	0	0	
地域包括支援センター職員	2	1	1	1	1	
自治会長	1	1	1	1	1	
民生委員	1	1	0	1	1	
地域住民(知見を有する)	0	0	0	0	0	
事業所職員	2	2	2	1	2	

(3)消防訓練

日付	訓練内容
令和 5 年度 1 回目	10 月 25 日
令和 5 年度 2 回目	3 月 28 日

3.利用の状況(1) 日課

7:00	起床・洗顔・着替え等	14:00	ラジオ体操・レクリエーション・入浴
7:20	朝食準備	15:00	喫茶・おやつ
7:45	朝食	15:30	リハビリ訓練(歩行、階段昇降等)
8:50	ラジオ体操・体温、血圧測定	17:00	夕食準備・口腔体操
10:00	レクリエーション・余暇活動・入浴	17:30	夕食
11:30	昼食準備・口腔体操	19:00	着替え
12:00	昼食	20:00	消灯

(2) 年齢別・性別入居者数 (単位:人)

年 齢	男 性	女 性	合 計
70～74歳	0	0	0
75～79歳	1	1	2
80～84歳	2	0	2
85～89歳	2	7	9
90～94歳	1	3	4
95～100歳	0	1	1
合 計	6	12	18

2024年3月31日現在

(3) 平均年齢及び最高・最低年齢 (単位:歳)

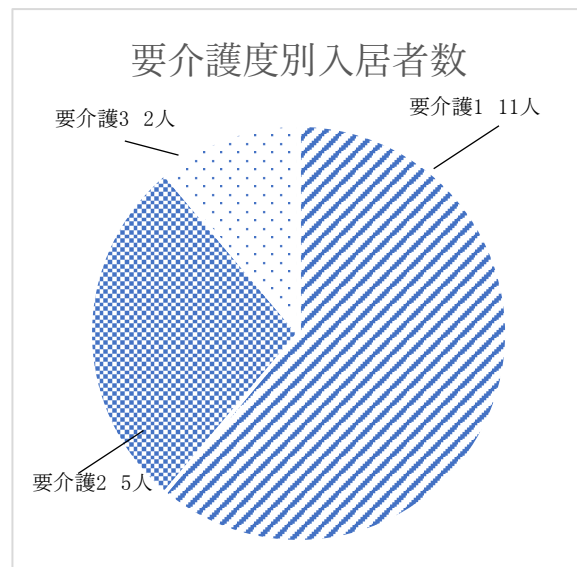
	男 性	女 性	全 体
平均年齢	84.8	88.5	87.3
最高年齢	91	98	98
最低年齢	79	75	75

2024年3月31日現在

(4) 要介護度別入居者数

要介護度	全体	割合
要支援2	0	0%
要介護1	11	61%
要介護2	5	28%
要介護3	2	11%
要介護4	0	0%
要介護5	0	0%
合 計	18	100%

2024年3月31日現在



4. 認知症高齢者の日常生活自立度 2024年3月31日現在

(単位:人)

ランク	判定基準	合計
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0
Ⅱa	家庭外で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られても、誰かが注意していれば自立できる。	1
Ⅱb	家庭内でも上記Ⅱの状態が見られる。	16
Ⅲa	日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	0
Ⅲb	夜間を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが時々見られ、介護を必要とする。	1
Ⅳ	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	0
M	著しい精神症状や問題行動あるいは、重篤な身体疾患が見られ専門医療を要する。	0
合 計		18

5.行事及び内容

・施設内行事他

日付	行事
04月02日	たこ焼き作り
05月09日	屋外喫茶
05月12日	かかしの里へ外出
05月13日	テイクアウト (パティスリールクール)
06月06日	ホットケーキ作り
06月23日	お化粧タイム
06月23日	テイクアウト(BIRTHDAY)
06月29日	グリーンエコーへ外出
07月07日	七夕会
07月16日	瑞岡神社夏祭り
07月19日	テイクアウト(ココ壱番屋)
08月03日	スイカ割り
08月16日	かき氷作り
08月24日	テイクアウト(えん家)
09月15日	敬老会
09月15日	花火大会
09月28日	フルーツポンチ作り
10月01日	たこ焼き作り
10月07日	屋台見学

日付	行事
10月19日	コスモス見学
11月07日	屋外喫茶
11月16日	フラダンス見学
11月24日	テイクアウト(アタリヤ)
11月28日	テイクアウト(海舟丸)
11月28日	紅葉ドライブ
11月30日	どら焼き作り
12月21日	クリスマス会
12月23日	テイクアウト(BIRTHDAY)
1/1～1/3	お正月行事
01月11日	ピザ作り
01月17日	瑞岡集会所ふれあいとんど
01月25日	テイクアウト(BIRTHDAY)
02月09日	ドーナツ作り
03月13日	たこ焼き作り
03月19日	テイクアウト(ズンバーグ)
03月21日	ホットケーキ作り
03月26日	テイクアウト (パティスリールクール)

※毎月1回体幹トレーニングの先生が来所

※毎月2回ハンドマッサージのボランティア来所

※新型コロナウイルスの5類への移行に伴い、状況を見ながら外出行事の実施や地域行事へ参加することが出来た。また、昨年度に引き続きテイクアウトを継続して行うことにより、楽しみとしての食事の提供に努めた。

6. 目標達成率

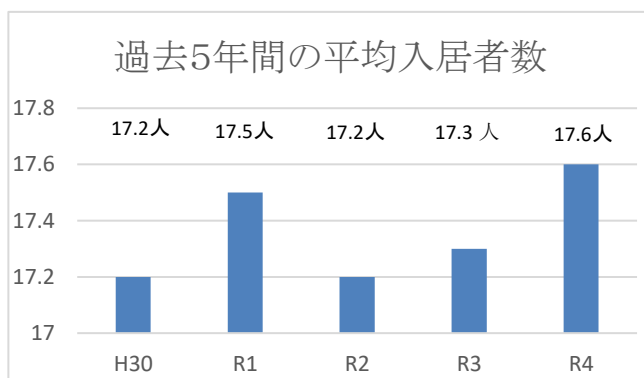
平均入居者数	目標	結果
	17.8名/日	17.3名/日

達成率

97.2%

・過去5年間の平均入居者数 (単位:人)

H30	17.2
R1	17.5
R2	17.2
R3	17.3
R4	17.6



7. 実績結果に対する考察

2023 年度の 1 日平均利用者数の実績は、17.3 名と目標(17.8 名)より 0.5 名少ない結果となった。入院件数が 2 件(骨折が 1 件、症候性てんかん発作が 1 件)であり、平均入院日数が 16 日と早期に退院調整を行うことが出来た。ただ、当法人内の従来型特別養護老人ホームとユニット型特別養護老人ホームへの異動が 6 名あり、稼働率及び平均介護度の低下に繋がった。

※2023 年度 退居者内訳

- ・従来型特別養護老人ホームへ異動 (4 名) ユニット型特別養護老人ホームへ異動 (2 名)
- ・他法人特別養護老人ホームへ入所 (1 名)

※空床期間…平均 30.2 日 (2022 年度空床期間…平均 35.6 日)

＜コロナの影響により、空床期間が長期に及んだ＞ 下記参照

○健康面について

訪問看護ステーションとの連携により、利用者の状態変化について早期に対応を行うことが出来た。コロナ発生時においても、感染症対策について多くのアドバイスを頂き、早期終息の大きな力となった。今後とも訪問看護、主治医との連携を密に行い、利用者の健康維持に努めていく。新たに入所された方に関しては ADL(Activity of Daily Life:日常生活動作、以降 ADL とする)能力が高い方が多く、日々の運動等を積極的に行うことにより、現在の能力を維持出来るように努める。

○生活面、人材育成に関して

新型コロナウイルスの 5 類への移行に伴い、状況を見ながら少しずつ外出行事の実施や地域行事への参加を行うことが出来た。また、昨年度に引き続きテイクアウトを毎月実施し、食の楽しみを提供出来るように努めた。日々の生活においては、施設周辺の散歩や階段昇降訓練を日課とし、気分転換を行いながら運動量の確保に努めた結果、ADL 能力の低下を予防することが出来た。今後も日々の生活の中で、色々な楽しみを提供出来るようにしていく。

今年度は利用者の入れ替わりが多く、様々な認知症の症状に対して、対応に苦慮する場面がよく見られた。今後は毎月のカンファレンスにおいて、職員間の情報共有を密に行い、個別サービスの向上に努める。また、認知症について考える会議にて各部署とも情報共有を行い、より良い対応方法について学びを深める。資格取得に関して、来年度は認知症ケア加算算定を目指し、計画的に認知症介護実践リーダー研修を受講予定である

○収支について

収入に関しては、同法人内への利用者の異動が 6 名あり、部署としては減収であるが、法人全体としては増収に繋がっている為、今後とも家族の意向を伺いながら、従来型特別養護老人ホーム及びユニット型特別養護老人ホームへの案内を継続して行っていく。

支出についてはコスト削減意識を職員一人ひとりが持ち、機器のメンテナンスや備品の適切な使用を行い、日々の支出の減少に努める。

収入については、利用者の状態に応じて適宜区分変更を行い、収入の増加に努める。

空床期間について、コロナの影響(自施設及び相手方施設でのクラスター発生により、入居が延期になった)があったが、昨年度より平均 5 日間短縮することが出来た。

今後も空床期間3週間を目標とし、退所前より段階的に準備を行うことにより、空床期間の減少に努める。

○待機者に関して

今年度は入居者の入れ替わりが7名と多く、それに伴い待機者数も8名とやや減少傾向となった。(昨年度の待機者12名から今年度は8名へ減少となったが、7名の入れ替わりがあった為、実際の待機者数としては増加傾向である)今すぐの入居は考えておられない方もおられるが、状況が大きく変わる場合はある為、今後も3か月に1回現在の状況や入居の希望について確認を行う必要がある。また、地域包括支援センターが行うブロック研修に参加し、ケアマネジャーとの繋がりを広げることにより、新たな利用者の紹介に繋げる。

○家族との連携に関して

面会については一時直接の面会を実施していたが、感染症等の関係があり、現在は再度扉越しでの面会を実施している。日々の様子については、利用者家族にソーシャル・ネットワーキング・サービス(LINE:ライン)に登録していただき行事の写真や動画を送信した。入居者18名中14名の家族がLINEに登録済みであり、登録されていない家族については毎月の様子を手紙にて伝えている。家族からは『いつもありがとうございます。美味しい物をたくさん食べて嬉しそうな姿は見ている私も幸せになります』との言葉をいただいております、とても喜んでいただけているので、今後も継続して実施していく。また、定期的な訪問時(物品持参時)に日々の様子を伝えるとともに、電話やショートメールにて都度連絡を行っている。グループホームの特色として、今後とも家族と入居者との絆を大切に、少しでも不安感や寂しさを軽減できるように支援を継続していく。